

平成21年3月期 第1四半期決算短信

平成20年8月5日

上場会社名 株式会社 ロブテックス
 コード番号 5969 URL <http://www.lobtex.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 木村 士郎
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役上席執行役員 管理本部長 (氏名) 豊島 尚規
 四半期報告書提出予定日 平成20年8月12日

上場取引所 大

TEL 072-980-1110

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第1四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第1四半期	1,305	—	△92	—	△112	—	△78	—
20年3月期第1四半期	1,466	7.8	40	140.2	18	—	2	△47.9

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第1四半期	△8.31	—
20年3月期第1四半期	0.23	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭	%	
21年3月期第1四半期	6,922	—	1,956	—	27.8	202.80	—	
20年3月期	7,041	—	2,120	—	29.7	220.09	—	

(参考) 自己資本 21年3月期第1四半期 1,926百万円 20年3月期 2,092百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	—	—	10.00	10.00
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	%
第2四半期連結累計期間	3,184	—	152	—	108	—	65	—	6.84	—
通期	6,584	1.4	486	180.9	404	329.8	191	—	20.09	—

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
 新規 — 社(社名)) 除外 — 社(社名))
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
 [(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。]
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの
 ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
 ② ①以外の変更 無
 [(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。]
- (4) 発行済株式数(普通株式)
 ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第1四半期 10,000,000株 20年3月期 10,000,000株
 ② 期末自己株式数 21年3月期第1四半期 501,699株 20年3月期 491,499株
 ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第1四半期 9,502,301株 20年3月期第1四半期 9,811,825株

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 平成20年5月14日発表の連結業績予想は、修正していません。
- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。
- 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

・定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期の方が国経済は原油価格や原材料価格高騰の影響を受け、企業収益に翳りが見られ、設備投資や個人消費の伸びが鈍化し、景気の先行きに減速感が強まりました。

このような状況の下、当社グループは創業120周年を機に更なる企業の発展・継続のため経営幹部の世代交代を図りますと共に、翼を拡げ、売上拡大を目指したグループ会社組織の再編を進めてまいりました。また、一方で内部統制強化にも取り組み、グループ全体における経営品質の向上に取り組んでまいりました。しかしながら、経営環境は厳しい情勢となり、売上高は前年同期比11.0%減の13億5百万円（前年同期14億6千6百万円）となり、利益面では、9千2百万円の営業損失（前年同期は4千万円の営業利益）、1億1千2百万円の経常損失（同1千8百万円の経常利益）、7千8百万円の四半期純損失（同2百万円の純利益）となりました。

事業の種類別セグメント業績は次のとおりです。

<金属製品事業>

国内売上高におきましてはファスニング事業における工業用ファスナーは前年同期水準の売上げを確保しましたものの、他の品種につきましては総じて減少いたしました。海外売上高におきましては、ハンドツール事業では韓国向けにモンキレンチ、中米向けに圧着工具が伸張いたしました。米国向けの建設工具が減少し、ファスニング事業では、欧州向けのエアリベッター、東南アジア向けのハンドリベッターが減少いたしました。その結果、金属製品事業の売上高は12億3千1百万円となりました。利益面では、売上の減少に原材料価格上昇や売上先に対する貸倒損失の発生が加わり、1億3千5百万円の営業損失となりました。

<レジャー事業（ゴルフ練習場）>

お客様一人当たりの売上高は減少しましたが入場者数は増加し、レジャー事業の売上高は7千4百万円となり、営業利益は4千2百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期末における総資産は前期末に比べ1億1千8百万円減の69億2千2百万円となりました。

<資産>

流動資産は現金及び預金や棚卸資産が増加しましたが、受取手形及び売掛金が減少し、前期末比1億5千9百万円減の38億6千7百万円となりました。固定資産は土地の増加を主因に同4千1百万円増の30億4千5百万円となりました。

<負債>

流動負債は未払法人税等の減少はありましたが、短期借入金の増加などにより、前期末比6千6百万円増の40億6千3百万円となりました。固定負債は長期借入金の減少により、同2千1百万円減の9億3百万円となりました。

<純資産>

第1四半期純損失の計上並びに配当金支出による利益剰余金の減少を主因に前期末に比し1億6千4百万円減少し、19億5千6百万円となりました。

キャッシュ・フローの状況につきましては、前期末に比べ資金が1億4千8百万円増加し、当第1四半期末には7億6千8百万円となりました。キャッシュ・フローの区分別の概要は次のとおりです。

<営業活動によるキャッシュ・フロー>

税金等調整前四半期純損失の計上やたな卸資産の増加はありましたものの、売掛債権が減少し、資金が2億6千万円増加しました。

<投資活動によるキャッシュ・フロー>

有形固定資産の取得を主因に、資金が6千9百万円減少しました。

<財務活動によるキャッシュ・フロー>

配当金支出を主因に資金が4千2百万円減少しました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成21年3月期の連結業績予想につきましては、平成20年5月14日に発表いたしました連結業績予想より、変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①簡便な会計処理

当第1四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ簿価切下げを行う方法によっております。

②四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

税金費用については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

なお、法人税等調整額は法人税、住民税及び事業税に含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。

また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

②「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成18年7月5日 企業会計基準第9号)を当第1四半期連結会計期間から適用し、評価基準については、原価法から原価法(収益性の低下による簿価切下げの方法)に変更しております。

これに伴う営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期純損失に与える影響は、軽微であります。

5. 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	868,760	719,798
受取手形及び売掛金	783,535	1,365,363
商品	1,067,851	923,403
製品	75,803	109,560
原材料	263,591	226,881
仕掛品	312,394	295,414
貯蔵品	90,523	97,630
その他	407,317	288,967
貸倒引当金	△2,474	△80
流動資産合計	3,867,302	4,026,938
固定資産		
有形固定資産		
建物	1,257,467	1,277,657
土地	925,463	870,040
その他	611,624	617,093
有形固定資産合計	2,794,555	2,764,791
無形固定資産	15,091	15,420
投資その他の資産	236,202	223,818
固定資産合計	3,045,849	3,004,030
繰延資産	9,776	10,655
資産合計	6,922,928	7,041,624
負債の部		
流動負債		
買掛金	327,500	308,910
短期借入金	3,304,719	3,229,111
未払法人税等	19,719	60,884
その他	411,347	397,461
流動負債合計	4,063,287	3,996,367
固定負債		
社債	800,000	800,000
長期借入金	49,150	69,790
退職給付引当金	17,413	16,039
役員退職慰労引当金	29,185	31,265
その他	7,632	7,782
固定負債合計	903,381	924,876
負債合計	4,966,668	4,921,243

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	960,000	960,000
資本剰余金	491,045	491,045
利益剰余金	585,751	759,803
自己株式	△128,870	△126,918
株主資本合計	1,907,926	2,083,930
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	18,372	8,823
評価・換算差額等合計	18,372	8,823
少数株主持分	29,960	27,626
純資産合計	1,956,259	2,120,380
負債純資産合計	6,922,928	7,041,624

(2) 【四半期連結損益計算書】

(単位：千円)

当第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)	
売上高	1,305,826
売上原価	930,046
売上総利益	375,780
販売費及び一般管理費	
給料及び手当	151,051
その他	317,680
販売費及び一般管理費合計	468,732
営業損失(△)	△92,951
営業外収益	
受取利息	425
受取配当金	968
仕入割引	4,007
その他	9,846
営業外収益合計	15,248
営業外費用	
支払利息	13,433
売上割引	16,930
その他	4,351
営業外費用合計	34,715
経常損失(△)	△112,419
特別損失	80
税金等調整前四半期純損失(△)	△112,499
法人税、住民税及び事業税	△35,819
少数株主利益	2,287
四半期純損失(△)	△78,967

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

当第1四半期連結累計期間
(自 平成20年4月1日
至 平成20年6月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純損失(△)	△112,499
減価償却費	40,665
貸倒引当金の増減額(△は減少)	20,907
退職給付引当金の増減額(△は減少)	1,374
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△2,080
受取利息及び受取配当金	△1,394
支払利息	13,433
有形固定資産売却損益(△は益)	80
売上債権の増減額(△は増加)	564,237
たな卸資産の増減額(△は増加)	△157,274
その他の資産の増減額(△は増加)	△105,277
仕入債務の増減額(△は減少)	18,590
その他の負債の増減額(△は減少)	43,048
その他	△34,088
小計	289,722
利息及び配当金の受取額	1,286
利息の支払額	△15,549
法人税等の支払額	△15,014
営業活動によるキャッシュ・フロー	260,445
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△63,500
投資有価証券の取得による支出	△1,146
その他	△4,768
投資活動によるキャッシュ・フロー	△69,415
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額(△は減少)	130,000
長期借入金の返済による支出	△75,032
自己株式の取得による支出	△1,951
配当金の支払額	△95,085
財務活動によるキャッシュ・フロー	△42,068
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	148,961
現金及び現金同等物の期首残高	619,798
現金及び現金同等物の四半期末残高	768,760

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

当第1四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年6月30日)

	金属製品事業 (千円)	レジャー事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に 対する売上高	1,231,759	74,066	1,305,826	—	1,305,826
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,231,759	74,066	1,305,826	—	1,305,826
営業利益(又は営業損失△)	△135,222	42,270	△92,951	—	△92,951

(注) 1 事業区分は当社の事業の内容に照らし、金属製品事業とレジャー事業に分類しております。

2 各区分の主な製品

金属製品事業……ハンドツール(レンチ・プライヤ・圧着工具等)、ファスニングツール(リベッター・ナッター等)、工業用ファスナー(リベット・ナット等)、切削工具(ダイヤモンドホイール・ドリル等)などの製造販売

レジャー事業……ゴルフ練習場

【所在地別セグメント情報】

当第1四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年6月30日)

本邦以外の国または地域に所在する支店及び連結子会社はありません。

【海外売上高】

当第1四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年6月30日)

	東アジア	北中米	欧州	その他の地域	計
I 海外売上高(千円)	148,932	35,009	3,524	21,732	209,199
II 連結売上高(千円)					1,305,826
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	11.4	2.7	0.3	1.6	16.0

(注) 1 国又は地域の区分は、地理の近接度によっております。

2 各区分に属する主な国又は地域

(1) 東アジア……韓国、台湾

(2) 北中米……アメリカ

(3) 欧州……ドイツ

(4) その他……オーストラリア

3 海外売上高は、当社の本邦以外の国又は地域における売上高です。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考」

前四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 前四半期連結損益計算書

科 目	前第1四半期連結累計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年6月30日)
	金額(千円)
I 売上高	1,466,454
II 売上原価	978,622
売上総利益	487,831
III 販売費及び一般管理費	447,120
1 給料及び手当	150,434
2 退職給付引当金繰入額	15,967
3 その他	280,717
営業利益	40,711
IV 営業外収益	11,536
1 受取利息及び配当金	1,658
2 その他	9,877
V 営業外費用	33,330
1 支払利息	12,556
2 売上割引	15,901
3 その他	4,871
経常利益	18,917
VI 特別損失	897
1 固定資産除却損	897
税金等調整前四半期純利益	18,019
税金費用	17,222
少数株主利益	△1,484
四半期純利益	2,281